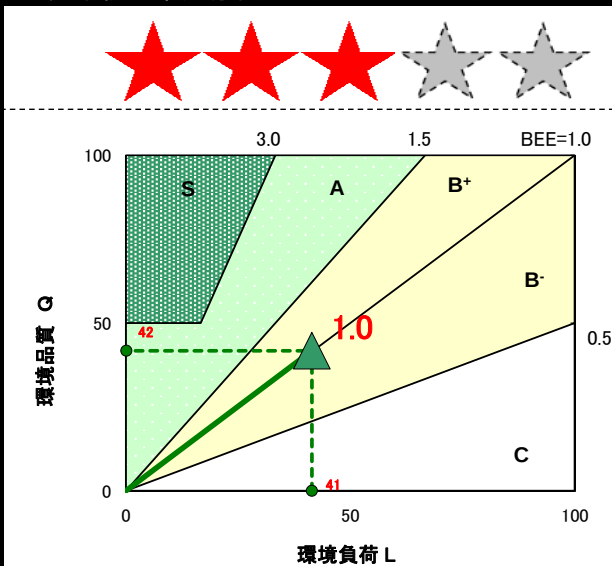


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	(仮称)水前寺3丁目123	階数	地上12F	
建設地	熊本県熊本市中央区水前寺3丁目6	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	132 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年2月17日	
敷地面積	728 m ²	作成者	近松 敬倫	
建築面積	298 m ²	確認日	2021年2月17日	
延床面積	2,518 m ²	確認者	近松 敬倫	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q (\text{環境品質})}{L (\text{環境負荷})}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

100%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

		69												
	評価点	■熊本市重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	85.0	<table><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	55.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	52.5													
【重点事項4】 循環型社会の実現	66.0													

※評価点は、100点以上が推奨です。

■ 熊本県重点評価基準

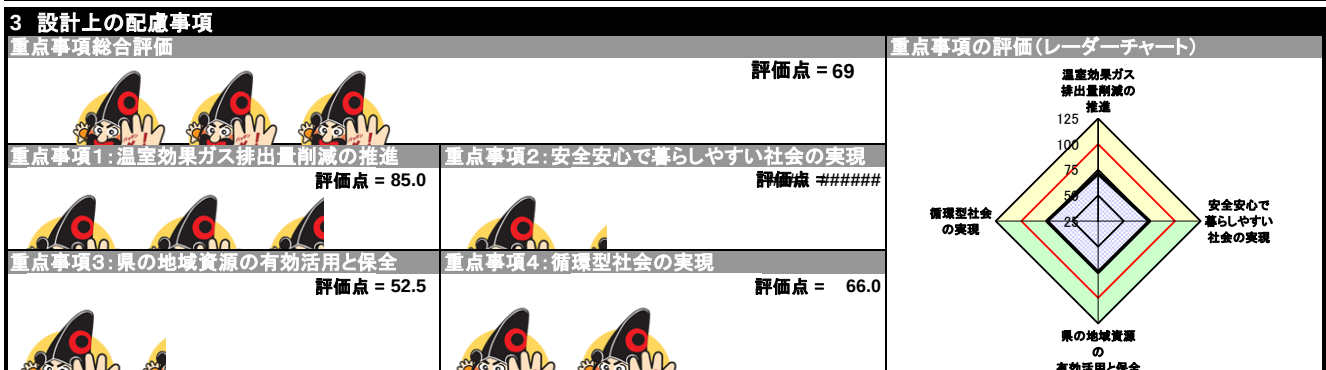
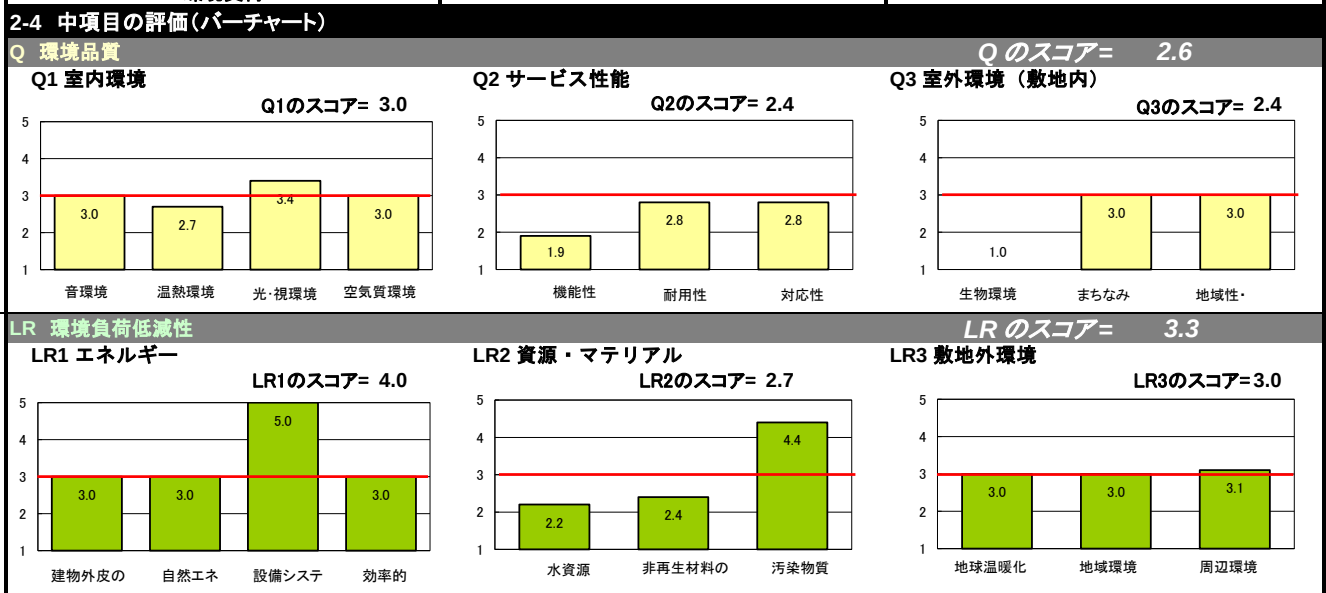
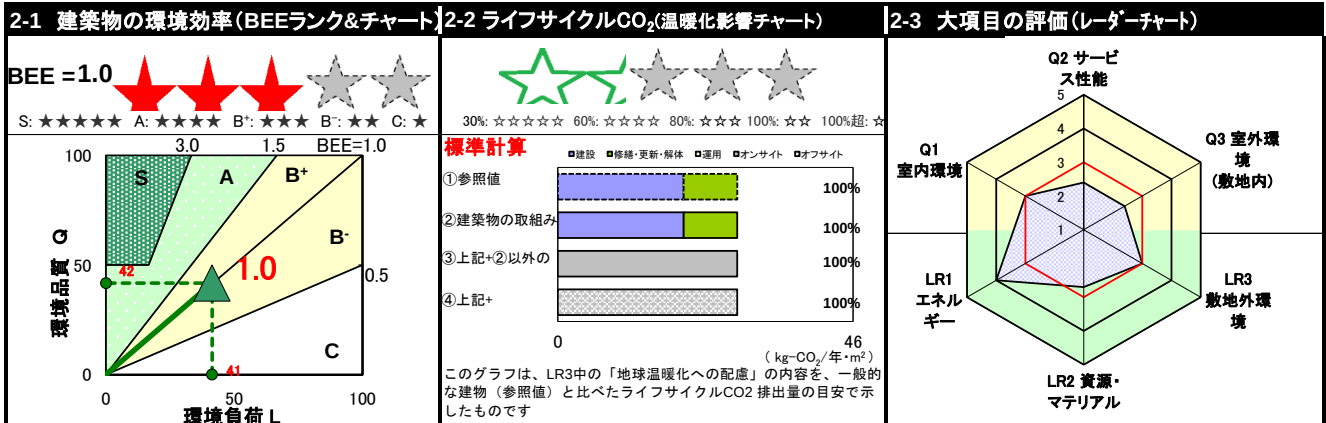
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)水前寺3丁目_123	階数	地上12F
建設地	熊本県熊本市中央区水前寺3丁目6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	132 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年2月17日
敷地面積	728 m ²	作成者	近松 敬倫
建築面積	298 m ²	確認日	2021年2月17日
延床面積	2,518 m ²	確認者	近松 敬倫



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)水前寺3丁目_123

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40		-	3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		1.0	0.35	3.0	1.00	2.7
2.1 室温制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温	エントランス: AAD-1 U=6.0(W/m ² K)、住居: 断熱性能等級3	-	-	-	-	
2 外皮性能		1.0	1.00	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		3.5	0.25	3.4	1.00	3.4
3.1 屋光利用		4.2	0.43	4.0	0.40	
1 屋光率	屋光率 住居: 3.55% 共用部: 7.90%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	3.0	0.40	
1 屋光制御	共用部分: 制御をかけられる開口部がないため評価対象外	-	-	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.21	3.0	0.20	
3.4 照明制御	住居部分: 居住者設置のため評価対象外	3.0	0.36	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策		3.0	1.00	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		-	-	3.0	0.38	
1 換気量	住居部分: 1.7倍、共用部分: 空気調和設備がないため評価対象外	-	-	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	共用部分: 換気設備なしのため評価対象外	-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.4
1 機能性		1.6	0.40	2.0	1.00	1.9
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	BまたはCを使用	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
	1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		-	-	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.25	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.13	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.13	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.25	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.25	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.82	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20	-	-	4.4
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		5.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	1.00	-	-	
	3 冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.50	-	-	
	2 振動		3.0	0.50	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし、光害対策ガイドラインのチェックリスト一部を満たす	4.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・歩道や道路に面する部分には、限られた敷地の中でも緑地を設け、周辺地域の景観に配慮した。

Q1 室内環境

- ・底等による日射熱負荷の低減により建物の快適性を高めた。

Q2 サービス性能

- ・給水管、排水管、給湯管には耐用年数30年以上の材料を用い、長寿命化を図っている。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・1階部分がピロティのため、風の通り道の確保、空地率の向上、暑熱環境の緩和に寄与している。
- ・擁壁は必要最低限の設置とし、周囲からの見通しに配慮した。
- ・周辺地域に対して良好な景観にも配慮した。

LR1 エネルギー

- ・BEI=0.82 省エネルギー機器の採用に配慮した。

LR2 資源・マテリアル

- ・フロン・ハロンの不使用により、環境に配慮した。

LR3 敷地外環境

- ・限られた敷地の中に、できる限り駐車場、自転車駐車場を設けた。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)水前寺3丁目_123

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		69
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				85	0.40	34.00
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				55	0.20	11.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				52.5	0.20	10.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				66	0.20	13.20
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.8	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数